（２）商店街イベント振興助成

①富士本町軽トラ市事業

事業目的

「富士本町軽トラ市」を年３回開催し、商店街の活性化に寄与することを目的とする。

事業内容

歩行者天国となった富士本町通り約 450ｍに、約 80 台の軽自動車を配置し、農産品や食品及び雑貨等の対面販売を行う。また、太鼓演奏などのイベントも行い賑わいを創出する。

令和６年度までに計 28 回開催。

来場者数　　（人）

開催月	平成 30 年度	令和元年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
６月	9,500 人	11,000 人	21,000 人	10,000 人	12,000 人
10 月	雨天中止	11,000 人	15,000 人	10,000 人	9,000 人
２月	11,000 人	10,000 人	15,000 人	9,000 人	8,000 人
計	20,500 人	32,000 人	51,000 人	29,000 人	29,000 人

（令和２・３年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）

主催団体

富士本町商店街振興組合

②吉原宿一の市事業

事業目的

商店街の活気を促すとともに、商店街に不足する業種の補足を目指し、空き店舗の解消と地域住民に愛され、安心して買い物ができ、楽しんで来街してもらえる憩いの場及び地域コミュニティの場づくりを目的とする。

事業内容

毎月１日（１月１日を除く）に、各商店の店頭で統一外観を持たせたワゴン・のぼり等により逸品商品・目玉商品のアピールや販売を実施。約 20 店の外部出店は、お買い得菓子・自家栽培野菜や果物・惣菜・占い・東北支援販売など多種にわたり、固定客もついている。一の市開催日は駐車場２ヶ所の無料開放も行い、来街客で賑わっている。

主催団体

吉原商店街振興組合

※令和６年度で終了し、令和７年度から「吉原アーケードマーケット」にリニューアル

③吉原宿宿場まつり事業

事業目的

商店街の賑わい創出を図るため、平成12年度「東海道四百年祭」をきっかけに、吉原宿の歴史・文化を活用した商店街と地域住民や各種団体が一体化した魅力あるまちづくりを目的とする。

事業内容

吉原本町通りを歩行者天国とし、東海道の宿場町、吉原宿の歴史・文化・まちの魅力を詰め込んだ祭りを実施。吉原祇園太鼓・よさこい・ちんどんや・ミニ縁日わなげ・出張展示館など、見て、参加して一日楽しめるイベントとなっている。

令和６年度はイベントや体験・見物・抽選会などにより終日賑わいが見られた。「ハロウィンお化け屋敷」や「わんわん大サーカス」は、多くの来場者が集まり、大きな賑わいをもたらした。

来場者数　（人）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和５年度	令和６年度
16,000	18,000	17,000	19,000	17,000

（令和２・３・４年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）

主催団体

吉原宿宿場まつり実行委員会

④吉原まるごとマルシェ事業

事業目的

平成28年度に開催された「2017東海・北陸Ｂ－１グランプリ ｉｎ富士」において、まちに大きな賑わいが生まれるとともに地域の魅力や文化を来場者にＰＲすることにつながった。今後のまちの活性化を進める上で貴重な経験となったことから、そのノウハウを活かし、今後のさらなるまちおこしと賑わい創出を目的とする。

事業内容

令和６年度は吉原本町通りを歩行者天国とし、Ｂ－１グランプリに参加しているまちおこし団体等の出展や、市内事業者を中心に各店がこだわりの逸品を販売する「こだわりマルシェ」のほか、30組の地元アーティストが楽曲を披露する「ストリートライブ」、地元写真家による「富士山写真展」などを実施し、多くの来場者で賑わった。

平成27年度はＢ－１グランプリのプレイベントとして実施し、43,000人が来場した。

来場者数　（人）

平成30年度	令和元年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
23,000	10,000	13,840	18,000	16,000

（令和２・３年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止）

主催団体

吉原商店街振興組合、よしわら若旦那ＣＬＵＢ、吉原まるごとマルシェ実行委員会